



観音寺市立伊吹小学校

学校だより 第21号

「伊吹イレブン」

令和3(2021)年3月16日(火)発行



観音寺市立伊吹中学校

心温まる卒業式になりました！

3月12日(金)、第128回伊吹小学校卒業式、並びに第74回伊吹中学校卒業式を開催しました。昨年度に引き続き、ご来賓をお招きすることはかないませんでしたが、保護者の皆様のご列席のもと、心温まる卒業式になりました。



今年の卒業生は、小学校では、合田佳広さん、大川心結さん、中学校では大川蒼月さんの3名です。小学校では128年間にのべ5573人、中学校では74年間にのべ2859人の方が小・中学校を巣立っていったこととなります。

卒業生入場の時は、緊張した面持ちの3名でしたが、卒業証書授与では、おごそかな態度で証書と記念品を受け取ることができました。

校長式辞では、「好奇心を持ち続け、人として知的に成長を続けてほしい」ということを話しました。また、真鍋和弘PTA会長からは、「人との出会いを大切にしてほしい」と祝辞をいただきました。

小学校在校生送る言葉では、大きな声で気持ちを込めて送る言葉を言い、「旅立ちの日に」を歌って卒業生を送りました。続く小学校卒業生お別れの言葉では、2人は6年間を振り返りながら、しっかりと声でお別れの言葉を言い、「3月9日」を熱唱しました。



続いて中学校在校生を代表して、合田ゆきさんが、卒業生との思い出やねぎらいがつづられた送辞を心を込めて読みました。卒業生の大川蒼月さんは答辞として、後輩を励まし来年度からも頑張ってもらいたいという願いを、言葉をかみしめながら伝えてくれました。

保護者謝辞では、小中を代表して大川綾さんから、コロナ禍でも頑張った子どもたちの姿や、教職員に対する感謝の言葉をいただきました。

その後、4人の中学生が正面に並び、「春よ来い」を斉唱しました。間奏では、大川蒼月さんがこれまでお世話になったご両親への「感謝の手紙」を読み、会場は感動で満たされていました。

卒業生の皆さんの輝かしい前途を祝福いたします。そして、保護者の皆様、地域の皆様、今後とも3人を温かく見守っていただきますよう、お願いいたします。
(文責：白井 基)

